

令和4年3月4日

ロシアのウクライナ侵略に際し、 核兵器の使用を示唆した一連の行為に対する抗議文を送付しました

ロシアがウクライナ侵略に踏み切り核兵器の使用を示唆した、一連の行為に対しての抗議文を、3月4日付けでロシア連邦大統領宛てに送付しました。抗議文の内容は、下記のとおりです。

なお、本日、習志野市議会においても同様の決議を議決しております。

記

ロシア連邦大統領
ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

ロシアがウクライナ侵略に踏み切り、さらには、核兵器の使用を示唆した一連の行為について、核兵器廃絶平和都市を宣言している習志野市として貴国に対し厳重に抗議します。

当市では 1982 年に核兵器廃絶平和都市宣言をして以来、被爆の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え続けるとともに、再び地球上に広島・長崎の、あの惨禍が繰り返されることのないよう、平和を愛する世界の人々と共に、核兵器廃絶と恒久平和を願ってまいりました。

このたびの行為は、国際社会の秩序を踏みにじる暴挙であるとともに、世界の安寧を願う習志野市民を落胆させ、核兵器廃絶への道を逆行するものであることから、ここに、日本国千葉県習志野市を代表して、強く抗議いたします。

人々の尊い命と平和な暮らしを理不尽に奪う侵略行為を直ちに中止し、平和的解決への道を探ることを強く求めます。

2022 年 3 月 4 日

千葉県習志野市長 宮本 泰介

以上